

コレンジャーが木を切る →→→間伐体験！！

9/10 の活動の際、コレンジャーは森のヒノキを調べ「森の地図づくり」を行いました（レンジャー新聞 10 月号参照）。今回、その地図をもとに森でヒノキの間伐を行いました。みんなヘルメットをかぶり、ノコギリだけでヒノキの伐倒に挑戦！途中、木が枝に引っかかり、みんなで力を合わせてロープを引っ張り倒すことに。木が倒れた「ドーン！」という大きな音、振動を目の当たりにし、みんな大興奮。切り倒した木の上に座り、達成感のある記念写真となりました。

伐倒後、ヒノキを2m間隔に玉切りにして、手分けしてみんなで年輪を数えました。切り株の年輪から 60 年生のヒノキであることがわかりました。（11/6）



記念植樹

戸倉の伝名沢にある「新宿の森」にて記念植樹が行われました。新宿区とあきる野市から総勢 140 名もの参加者があり、山がとてもにぎわいました。私たち森林レンジャー、森の子コレンジャーも記念植樹に参加し、モミジ、ケヤキ、カツラ、クリなどの広葉樹を植樹しました。お昼は地元の方の手作り豚汁をいただきました。（10/29）

あきる野市産業祭 ドングリ笛づくり♪

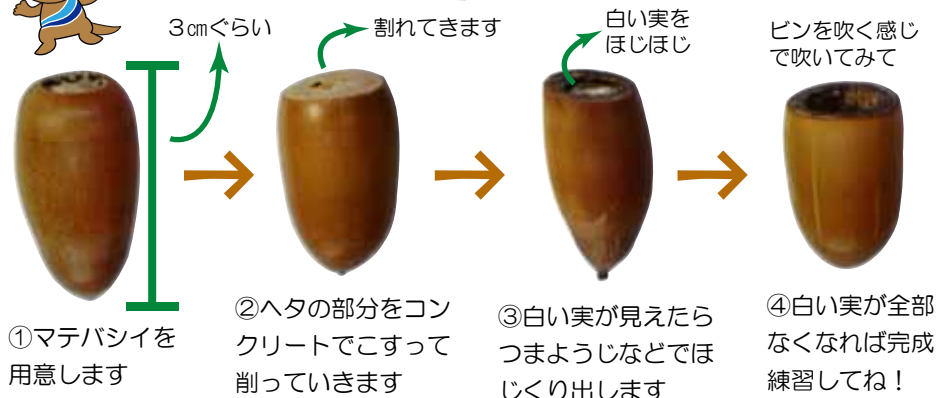


11/12～11/13、あきる野市産業祭が開催されました。私たち環境の森推進室もブースを出展し、日頃、森で発見した動物、植物などの写真、いろいろな種類の木の標本、コレンジャーの活動などを展示紹介しました。それだけではなく、ブースの前でだれでも参加できる「ドングリ笛づくり」のイベントを同時に行いました。なんと、コレンジャーがドングリ笛づくりの先生です！不慣れながら“先生”として笛の作り方の説明をがんばっていました。

小さな子どもが一生懸命ドングリをこすりつけて笛をつくる姿に、昔の自分の姿が重なり懐かしく感じる一時でした。



どんぐり笛を作ってみよう



◎ みなさん、「ミゾゴイ」って知ってますか？



ミゾゴイ（溝五位）
Nycticorax goisagi

ミゾゴイは、サギの仲間で梅雨前に東南アジアから日本（本州以南）に渡ってくる夏鳥です。サギの仲間でも沼や川といった水辺で魚を捕ることはせず、茂った森などでミミズやサワガニなどの生き物を捕食しています。現在、世界で約 1000 羽しか生存していないといわれており、豊かな森と豊富なエサ環境がなければ生息できない鳥類です。

今年 8/17、市役所に「ミゾゴイの死体を発見しました。」という問い合わせがありました。現地で確認してみたところ、交通事故により頭部を骨折した死亡個体であることが判明しました。残念なことですがこの個体を今回はく製にしました。

ミゾゴイが生息できる豊かな自然を後世に残していきたいものですね。



交通事故死したミゾゴイ